可決した 意見書（要約）

携帯電話のリサイクル推進を求める意見書

レアメタルを含む非鉄金属はわが国の産業競争力の要とも言われており、その安定確保はわが国の産業にとって重要な課題である。近年、国際価格の高騰や資源獲得競争の激化により、その確保に懸念が生じている。

貴重な鉱物資源をめぐるこのような状況を受け、使用済み製品に使われたレアメタルの再利用推進が重視されている。

そこで、政府に対して、使用済みの携帯電話の適正な処理とレアメタル等の有用な資源の回収促進を図るため、下記の事項について早急な対策を講じるよう強く求める。

記

1．必要な法整備を行うこと。
2．企業・団体の取組を支援する施策を行うこと。
3．簡略化等による省資源化を実現すること。
4．循環利用のための社会システムの確立を目指すこと。

生活保護受給者の通院移送費削減についての意見書

70歳以上の生活保護受給者に支給されていた老齢加算の廃止、15歳以上の子どもを持つ、ひとり親世帯に支給されていた母子加算についても全廃するなど、政府による生活保護基準の切り下げや諸物価の値上がりで、生活保護世帯の生活は大変厳しいものになっている。

現行の生活保護制度では、通院移送費は「最低限度の移送」に必要な実費が支給されてきたが、厚労省は通院移送費の使える範囲を、（1）緊急時などに狭める（2）受診できる医療機関を福祉事務所管内にするとの通知を出した。

最低生活を送る生活保護受給者にとって、通院交通費の打ち切りや削減は、医療へのアクセスを絶たれることになり、医療の権利が奪われ、命の危険さえ起こりかねない。

よって、生活保護受給者が安心して医療が受けられるように、通院移送費はこれまでどおり支給するよう求めるものである。

所管事務調査

総務

◆職員の人事管理

問 職員の超過勤務の実態についてはどうか。

職員課長 19年度では、いまだ年間1000時間を超える職員がいる。月80時間を超える職員は、19年4月で29人、5月で16人であった。

問 正規職員の採用を増やす計画はあるのか。

職員課長 定員適正化計画により人員削減を22年度まで進める必要があるが、定数については、現場を見ながら適正に対応したい。

問 職員人材育成計画の作成はまだできていないが、なぜか。

総務部長 精力的に取りまとめているが、最終段階で手間取っている。早急に策定したい。

◆山城人権ネットワーク

問 新しい組織として立ち上げる必要があったのか、既存の組織でも十分行えるのでは。

市民部長 人権問題は、広域的な課題である。各市町村、団体、企業等が連携し、幅広い活動の展開を期待している。

◆草内区内の横断歩道設置

問 通学路となっている草内区内の交差点への横断歩道設置について、PTAの方から要望しているが、進捗状況は。

安心まちづくり室担当課長 園児・児童の通学の安全確保を行う観点から、現在、田辺警察署等と協議中である。

◆耐震診断の助成策

問 耐震診断と耐震改修を進める対策についてはどうか。

安心まちづくり室担当課長 昨年度、耐震計画、地震ハザードマップ、耐震の助成制度を策定したが、運用については、現在、建設部で行っている。

文教福祉

◆保護者による理不尽な要求

問 本市において、保護者による理不尽な要求の実態はどうか。

学校教育課総括指導主事 現在、理不尽な要求と思えるようなものはない。

◆学校図書館専任司書の配置

問 学校図書館に専任司書を配置してほしいが、できないのはなぜか。市の見解は。

教育部長 現在、司書教諭を配置しており、今後その経緯を含めて、専任司書について議論していきたい。

◆昼食を持参できない生徒への対応策

問 恒常的に弁当を持参できない生徒に対する対応策についてはどうか。

学校教育課担当課長 何らかの方法では考えていきたいと思うが、食中毒の発生などあらゆることを想定し、慎重に協議をしていきたい。

◆保育所、学校等における安全対策

問 訪問した保育所において、門の鍵が壊れていたり、ブザーを押しても返答がなかったりしたことがあったが、安全対策について現状はどうか。

こども福祉課長 保育所には、防犯カメラとインターホンを設置しているが、安全上問題がある点については、管理者に指導したい。

◆特定健診の費用負担

問 40歳以上を対象に行ってきた一般健診と基本健診が特定健診となったが、費用の負担はどうなるのか。

健康介護課長 受診率を上げる必要もあり、無料での実施を考えている。

防犯対策のため正門に設置されたインターホン（河原保育所）

建設経済

◆市北部地域の道路問題

問 花住坂から松井ケ丘に抜ける道路の交通量調査についてはどうか。

建設政策推進室担当課長 京都府とも協議し早期に調査を実施したい。

問 健康村内の通学路の拡幅について地元から要望が出ているがどうか。

施設整備課長 地権者と協議して、可能ならば拡幅について検討したい。

◆花住坂における違法建築店舗問題

問 店舗の移転先を検討中と聞くが、移転先も違法建築とならないか。

計画建築課長 移転先について京都府と現地を確認したい。

◆興戸区開発の避難通路

問 預託金1200万円を請求する交渉相手が特定できてないのでは。

建設部長 避難通路の整備が第一であり、整備後の費用をもって請求できるよう特定したい。

◆緑泉園操業協定延長に伴う大住草内線の建設

問 協定の延長に当たって、大住草内線の建設を要望していたと思うが、担当部署の考えは。

建設部長 山手幹線や新田辺草内線が整備されている中で、建設は事実上難しいことを十分説明した上で、協定書を締結したと考えている。

◆第二京阪道路パーキングエリア建設

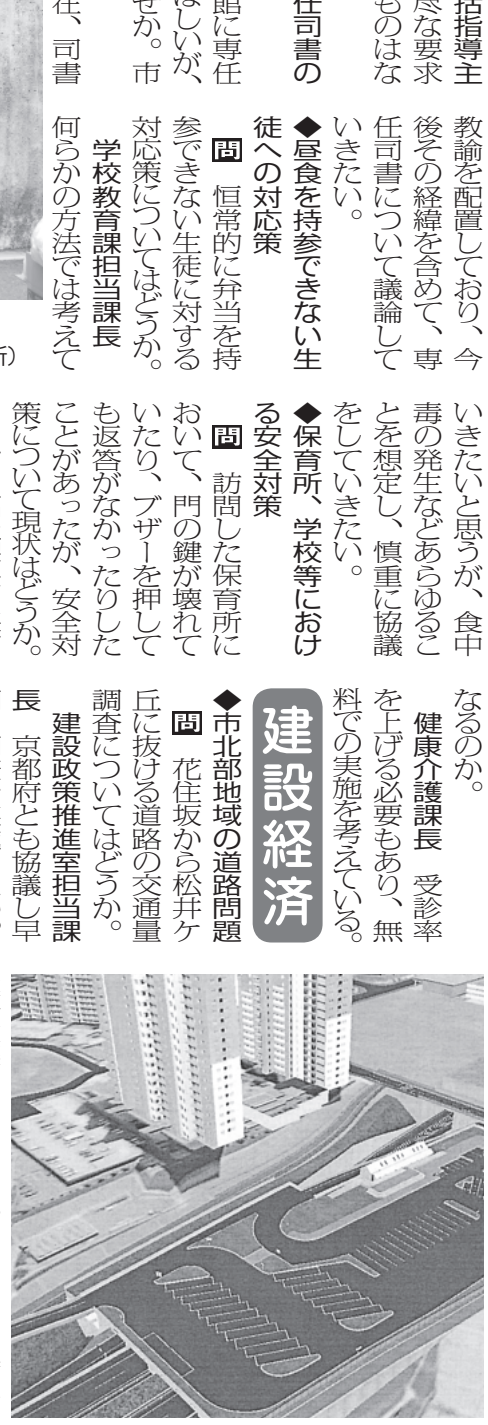
問 パーキングエリアから百貨店に入店できる計画と聞いていたが、その後どうか。

計画建築課長 NEXCOは、当初の計画を変更し、トイレと自販機のみの設置と考えている。市からも強く要望するが、難しい状況である。

◆地球温暖化防止計画

問 第2期計画から甘南備園を加えなかった理由は何か。

経済環境部副部長 京都府からの指導もあり、甘南備園の業務内容から判断して、第2期計画では除外した。



［仮称］田辺パーキングエリア（下り線）のイメージ図（NEXCO西日本より提供）
※今後の検討により変更の可能性があります。

委員会管外視察研修

広報編集特別委員会

5月13日に愛知県刈谷市議会、14日に同県幸田町議会を訪れ、広報編集特別委員会の管外視察研修を行いました。

今後の市議会だよりの編集に生かすべく、市議会だよりの編集・発行、ホームページ作成、インターネット映像配信システムについて研修しました。

文教福祉常任委員会

5月9日に井手町立井手小学校を訪れ、文教福祉常任委員会の管外視察研修を行いました。

平成18年度に文部科学省から委託された「学校図書館支援センター推進事業」をはじめ、学校図書館の機能の充実や強化を行う井手町独自の様々な取り組み内容について研修しました。

畑 前議員が全国市議会議長会から表彰

5月28日に東京都日比谷公会堂で開催されました全国市議会議長会定期総会において、4年以上市議会正副議長の職にあった者として畑俊宏前議員が議長会から表彰をされました。

なお、6月16日に上田議会議長から表彰の伝達を行いました。